

EMC NaviSphere のインストール

• EMC NaviSphere のインストール, 1 ページ

EMC NaviSphere のインストール

VNX と通信するため、Cisco UCS Director では、現在、Windows ベースの EMC NaviSphere がサ ポートされています。NaviSphere を使用する前に、セキュア シェル (SSH) サーバをインストー ルし、設定しておく必要があります。

Windows ベースの NaviSphere のインストールおよび設定

SSHD サーバを設定する場合は、Cygwin バージョン 1.7.27 をインストールし、ホストで SSH デー モンを使用することをお勧めします。Cygwin は Microsoft Windows 上で Linux と同様の環境を提 供します。

Windows ベースの EMC NaviSphere に SSHD サーバをインストールした後で、システム変数の PATH 変数を変更し、NaviSphere の bin フォルダをこのパスに含めてください。これにより、ユー ザが SSH を使用して Windows NaviSphere にアクセスし、VNX コマンドをただちに実行できるよ うになります。SSHD サーバをインストールおよび設定したら、新しいデフォルト パスを設定し て、ユーザによってインストールされるソフトウェアがシステム ソフトウェアをオーバーライド できるようにする必要があります。

Cygwin パッケージのインストール

次の手順に従って、Cygwin バージョン 1.7.27 をダウンロードし、インストールします。

- ステップ1 http://www.cygwin.com/からCygwin 実行ファイルをダウンロードします。
- ステップ2 パッケージ選択画面でCygwin パッケージをインストールする際は、openssh パッケージと openssl パッケー ジを選択してインストールします。パッケージは、必ず Windows ベースのホストにインストールしてく ださい。

SSHD サーバの設定

ステップ1 C:\<Cygwin-Install-Dir>ディレクトリに移動し、エディタを使用して Cygwin.bat を編集モード で開いて次の行を追加します:set CYGWIN=binmode ntsec 次に、前述の行を追加した Cygwin.bat ファイルの内容の例を示します。

@echo off

```
С:
chdir C:\<Cygwin-Install-Dir>\bin
set CYGWIN=binmode ntsec
bash --login -i
```

- ステップ2 コマンドプロンプトでC: \<Cygwin-Install-Dir>\Cygwin.batファイルを実行してSSHDサービス を設定し、コマンド\$ ssh-host-config を入力します。
 - a) 次の質問に回答します。

質問	推奨される回答
権限の分離を使用する必要がありますか。 <yes no=""></yes>	yes を選択します。
新しいローカル アカウントは 「sshd」ですか。 <yes no=""></yes>	yes を選択します。
サービスとして sshd をインス トールしますか。 <yes no=""></yes>	すでに SSHD がサービスとしてインストールされている場合は no、 そうでない場合は yes を選択します。
デーモンに対する CYGWIN の 値を入力してください:[] binmode ntsec	値を binmode ntsec と入力します。
別の名前を使用しますか。 (yes/no)	yes を選択します。

質問	推奨される回答
新しいユーザ名を入力してくだ さい: <new-username></new-username>	Enter the new username.
もう一度入力してください: <new-username></new-username>	新しいユーザ名を入力してください。
Cloupia を新しいユーザ名で置換しますか。(yes/no)	yes を選択します。
パスワードを入力してくださ い: <password></password>	このアカウントのパスワードを入力します。
もう一度入力してください: <password></password>	このアカウントのパスワードを再入力します。

システム環境変数の設定

- ステップ1 [コンピュータ (Computer)]アイコンを右クリックして[プロパティ (Properties)]を選択します。
- **ステップ2** デスクトップにコンピュータのアイコンが表示されない場合は、次の手順を実行します。
 - a) [スタート (Start)]ボタンをクリックします。
 - b) [スタート (Start)]メニューの[コンピュータ (Computer)]オプションを右クリックします。
 - c) [プロパティ (Properties)]を選択します。
- **ステップ3** [システムの詳細設定(Advanced System Settings)]をクリックします。
- ステップ4 [詳細設定(Advanced)]タブで[環境変数(Environment Variables)]を選択します。
- ステップ5 [システム変数 (System Variables)]で[パス (Path)]変数を選択し、末尾に次の2つのバイナリパスを追加します:c:\Program Files (x86)\EMC\Navisphere CLI;c:\<Cygwin-Install-Dir>\bin。 次の例を参照してください。 Variable Name: Path variable Value: <Existing Folders Path>;c:\Program Files(x86)\EMC\Navisphere CLI;c:\cygwin 64\bin
- **ステップ6** 新しい名前として[システム変数 (System Variable)]に CYGWIN を追加し、[変数値 (Variable Value)]に binmode tty ntsec を追加します。

Cygwin SSHD サービスの開始

手順の詳細

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ1	[Windows サービス(Window Services)] で Cygwin SSHD サービスを手動で開始 して、起動時に自動的に開始するように設定します。	

SSH アクセスの検証

コマンドプロンプトで絶対パスを指定しなくても、naviseccliコマンドを実行できることを確認します。SSH クライアントを使用して SSH アクセスを検証できます。

ステップ1 SSH クライアントを実行している別のマシンにアクセスし、次のコマンドを実行します。 ssh<USERNAME>@<host-ipaddress> 'date' または ssh-1<USERNAME>@<host-ipaddress> 'date'

例:

- たとえば、ssh -l pjohn@host-ipaddress 'date'
- **ステップ2** コマンドによってパスワードの指定を要求されます。 正しいパスワードを指定すると、コマンドは正確な日付を返します。

Linux ベースの NaviSphere のインストールおよび設定

- ステップ1 特定のプラットフォームの EMC サポートから VNX の naviseccli パッケージを検索してダウンロードします。 す。 次の例を参考にしてください。 NaviCLI-Linux-64-x86-en US-7.33.2.0.51-1.x86 64.rpm.
- **ステップ2** まだ切り替えていない場合は、su [username] を使用してルート ユーザに切り替えます。
- **ステップ3** rpm コマンドを使用して naviseccli パッケージをインストールします。 次の例を参考にしてください。 rpm -i NaviCLI-Linux-64-x86-en US-7.33.2.0.51-1.x86 64.rpm

- ステップ4 証明書の確認レベルを入力するプロンプトが表示されます。確認レベルとして medium[m]を指定します。
- ステップ5 naviseccli bin ディレクトリ(通常は /opt/Navisphere/bin)をシステムパスに追加します。たとえば、 ~/.bash_profile & ~/.bashrc に次の行を追加してからこのファイルを実行し、source ~/.bash_profile または source ~/.bashrc を実行して設定を有効にします。 PATH=\$PATH:/opt/Navisphere/bin export PATH
- ステップ6 接続する各アレイの各ストレージプロセッサと連携するには、この naviseccli のインストールを設定する 必要があります。エージェントがデータを収集するすべてのアレイのすべてのストレージプロセッサに対 して、次のコマンドを実行します。 naviseccli -user usename -password password -h sp ip -scope 0 -np getagent
- ステップ7 。セキュリティ プロンプトが表示されたら、証明書(オプション 2)を保存します。
- **ステップ8**使用するストレージプロセッサごとに必要に、応じてスクリプトを使用し、同じコマンドを実行します。 セキュリティプロンプトが再度表示されることはありません。
- ステップ9 SSH クライアントを使用して、「root」ユーザとして UCS Director にログインします。Naviseccli がインストールされている Navisphere ホストに対して次のコマンドを実行します。 このステップは、UCS Director のアカウントとして VNX ストレージアレイを追加する前に実行する必要があります。 # ssh <navicli-user>@<navicli-host-ip> naviseccli -User sysadmin -Password <sysadmin-pass> -Scope 0 -Address <SP-A-IP> port -list
- ステップ10 (SSH 証明書の承認後に) ログイン プロンプトでパスワードを入力します。 VNX ストレージアレイ ポート設定が一覧表示されます。証明書を保存するように最初に求められたら、 オプション2を選択します。
- ステップ11 ステップ9で表示されたものと同じコマンドを SP-B IP アドレスにも実行し、証明書を保存します。

٦